

## 再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課  
担当課長名：服部 卓也

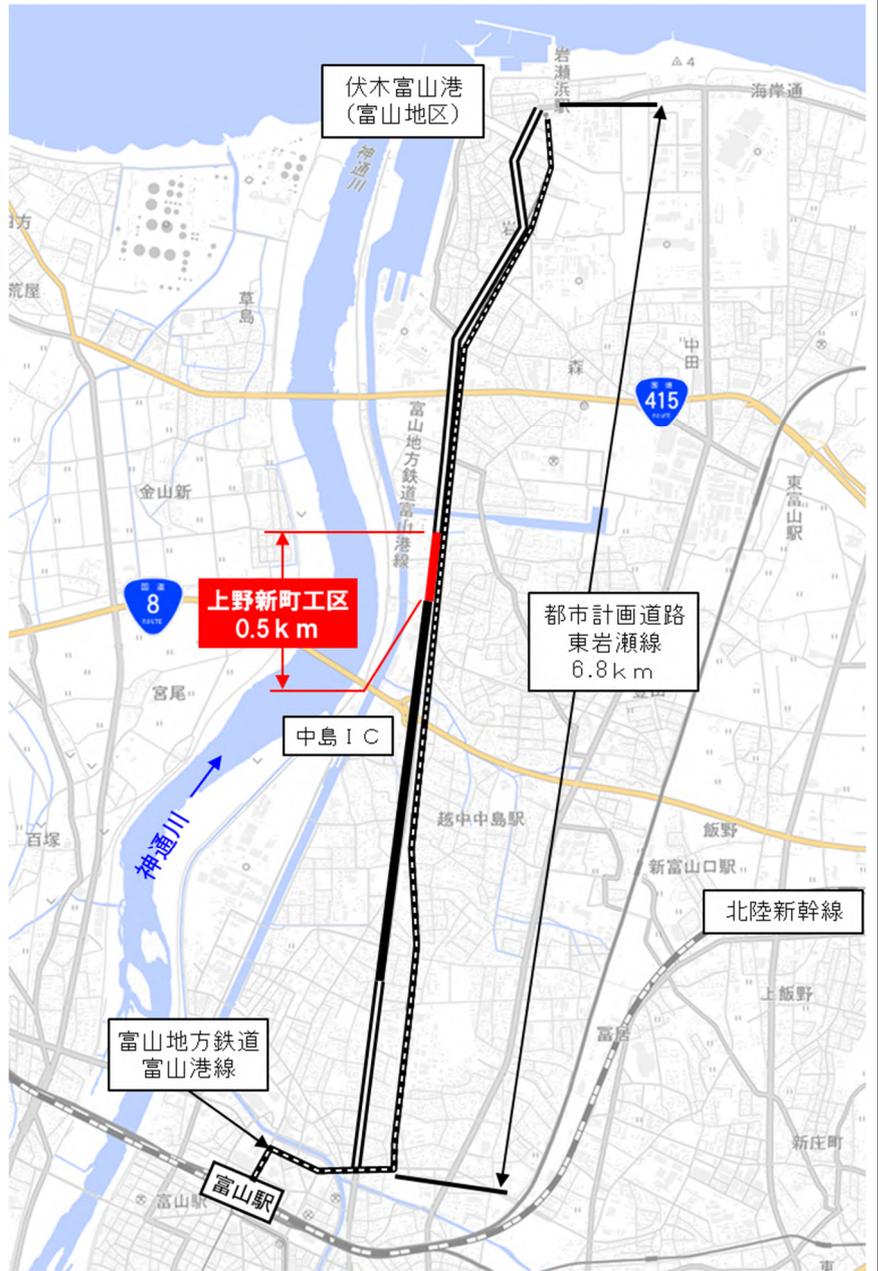
事業名	重要物流道路 都市計画道路 <small>ひがしいわき</small> 東岩瀬線（上野新町工区）	事業区分	街路	事業主体	富山県
起終点	自：富山県富山市上野新町 <small>とやましうわのしんまち</small> 至：富山県富山市上野新町 <small>とやましうわのしんまち</small>			延長	0.5 km
事業概要					
東岩瀬線は、富山市中心市街地と富山市北部地域の市街地を經由し、国道8号と国際拠点港湾伏木富山港（富山地区）を結ぶ富山市の主要な放射道路であるとともに、JR富山駅へのアクセス道路となる重要な路線であり、交通の円滑化やアクセス向上等を目的として、富山市上野新町地内の約0.5kmを整備するものである。					
H29年度事業化		H14年度都市計画決定		H30年度用地着手	
R元年度工事着手					
全体事業費	約16億円	事業進捗率	約87%	供用済延長	— km
計画交通量	21,400～22,000台/日				
費用対効果	B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 2.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 20/41億円 事業費：19/40億円 維持管理費：0.65/0.65億円 更新費：0/0億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 57/57億円 走行時間短縮便益：54/54億円 走行経費減少便益：1.8/1.8億円 交通事故減少便益：1.0/1.0億円	基準年 令和5年	
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.2～2.2（交通量±10%） 事業費：B/C=1.3～1.5（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.3～1.4（事業期間±20%）					
(残事業) 交通量：B/C=2.5～4.7（交通量±10%） 事業費：B/C=2.3～2.8（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.3～2.7（事業期間±20%）					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物流拠点の国際拠点港湾伏木富山港（富山地区）と国道8号や富山市中心市街地とのアクセス向上が図れる。</li> <li>・2車線から4車線への拡幅による、当該路線及び周辺道路の渋滞を緩和する。</li> <li>・歩道等の整備による、歩行者と自転車の安全性と快適性を改善する。</li> <li>・救急医療機関への救急搬送の安定性向上による、安心できる住民生活の実現を図る。</li> <li>・被災した地域からの迅速な緊急搬送、救援物資等の輸送の確実性向上が期待される。</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見					
・富山市より、海の玄関口である富山港と市街地中心部とを結ぶ重要な幹線道路であり、交通渋滞の解消と交流・物流促進のため早期整備が必要と要望を受けている。					
事業評価監視委員会の意見					
・事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
・周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
・用地取得率89%、事業進捗率87%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
・残る用地の取得は取得見込みであり、今後は早期完了を目指し工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
・他工事との調整による建設発生土の有効利用等を行い、総コストの縮減に努める。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	・事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



(都) 東岩瀬線

凡 例	
整備済	
事業中(事業区間)	
未整備	



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。